

4)各計画の見直しポイント ①健康日本21(第2次)の基本的な方針・構成・目標の設定・評価

国民の健康の増進の総合的な推進を図るための
基本的な方針 〈平成24年7月10日厚生労働大臣告示〉

この方針は、21世紀の我が国において少子高齢化や疾病構造の変化が進む中で、生活習慣及び社会環境の改善を通じて、子どもから高齢者まで全ての国民が共に支え合いながら希望や生きがいを持ち、ライフステージ(乳幼児期、青壮年期、高齢期等の人の生涯における各段階をいう。)に応じて、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会を実現し、その結果、社会保障制度が持続可能なものとなるよう、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な事項を示し、平成25年度から平成34年度までの「二十一世紀における第二次国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」を推進する。



国民の健康の増進の総合的な推進を図るための
基本的な方針の全部改正を踏まえた構成

- 第1 国民の健康の増進の推進に関する基本的な方向
- 第2 国民の健康の増進の目標に関する事項
※現行の健康日本21では、具体的な目標を健康局長通知で示していたが目標の実効性を高めるため、明記。
- 第3 都道府県健康増進計画及び市町村健康増進計画の策定に関する基本的な事項
- 第4 国民健康・栄養調査その他の健康の増進に関する調査及び研究に関する基本的な事項
- 第5 健康増進事業実施者間における連携及び協力に関する基本的な事項
- 第6 食生活、運動、休養、飲酒、喫煙、歯の健康の保持その他の生活習慣に関する正しい知識の普及に関する事項
- 第7 その他国民の健康の増進の推進に関する重要事項

健康の増進に関する基本的な方向

- ① 健康寿命の延伸と健康格差の縮小 生活習慣の改善や社会環境の整備によって達成すべき最終的な目標。
- ② 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底(NCD(非感染性疾患)の予防) がん、循環器疾患、糖尿病、COPDに対処するため、一次予防・重症化予防に重点を置いた対策を推進。国際的にもNCD対策は重要。
- ③ 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上 自立した日常生活を営むことを目指し、ライフステージに応じ、「こころの健康」「次世代の健康」「高齢者の健康」を推進。
- ④ 健康を支え、守るための社会環境の整備
時間的・精神的にゆとりある生活の確保が困難な者も含め、社会全体が相互に支え合いながら健康を守る環境を整備。
- ⑤ 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙、歯・口腔の健康に関する生活習慣の改善及び社会環境の改善
生活習慣病の予防、社会生活機能の維持及び向上、生活の質の向上の観点から、各生活習慣の改善を図るとともに、社会環境を改善。

目標設定 と評価

科学的根拠に基づき、実態の把握が可能な具体的目標を設定。具体的目標については、おおむね10年間を目途として設定。設定した目標のうち主要なものについては、継続的に数値の推移等を調査及び分析。目標設定後5年を目途に中間評価、目標設定後10年を目途に最終評価を実施し、目標を達成するための諸活動の成果を適切に評価し、その後の健康増進の取組に反映。